



医療AIの現在と未来： クラウド電子カルテが描く未来の世界観

株式会社メドレー
医療プラットフォーム本部 医科診療所プロダクト開発室長

佐藤 雄介

第45回日本医療情報学連合大会
(第26回日本医療情報学会学術大会)
COI開示

演題名 : 医療AIの現在と未来:クラウド電子カルテが描く未来の世界観

筆頭演者名 : 佐藤 雄介

私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません。

「医療ヘルスケアの未来をつくる」企業



メドレーは、医療ヘルスケア領域の課題を解決するために設立されました。ミッションである医療ヘルスケアの未来をつくるため、「人材プラットフォーム事業」と「医療プラットフォーム事業」を中心に事業を展開しています。

会社概要

会社名 株式会社メドレー

事業内容 人材プラットフォーム事業
医療プラットフォーム事業

代表者 代表取締役社長 CEO 瀧口 浩平

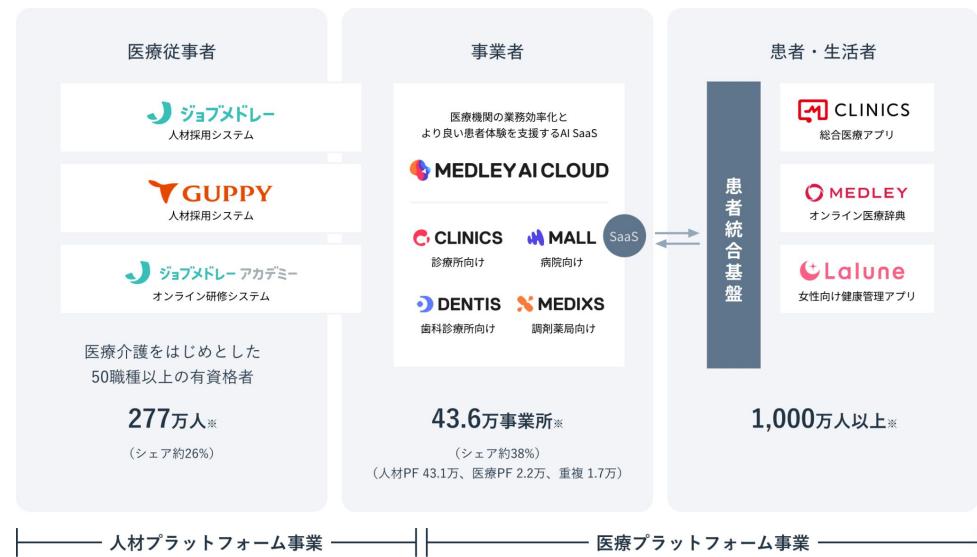
設立 2009年6月5日

本社所在地 東京都港区六本木6-10-1
六本木ヒルズ森タワー 13F

グループ会社 株式会社メドレーフィナンシャルサービス
株式会社ASFON TRUST NETWORK
MEDLEY US, Inc. 他

事業內容

※2025年6月末現在



次世代医療プラットフォーム「MEDLEY AI CLOUD」



MEDLEY AI CLOUDは、
病院・医科診療所・歯科診療所・調剤薬局など
各領域の医療機関が患者・生活者とひとつにつながる、
AI機能を搭載した次世代医療プラットフォームです。

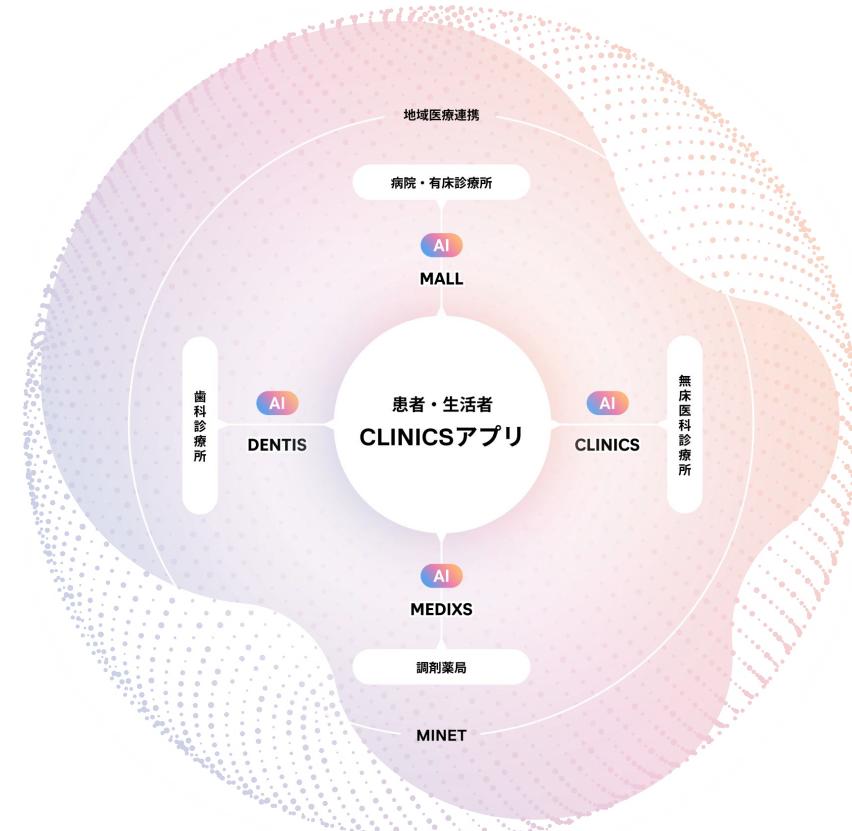
医療従事者が診療や患者との対話に集中できる環境を整えるため、
非臨床領域における『AI技術の実装』を重点テーマと位置づけ
本年9月1日にブランドをリニューアルし、提供を開始しました。

医療機関向けSaaS



CLINICS DENTIS MEDIXS MALL MINET

患者・生活者向けアプリ



アジェンダ

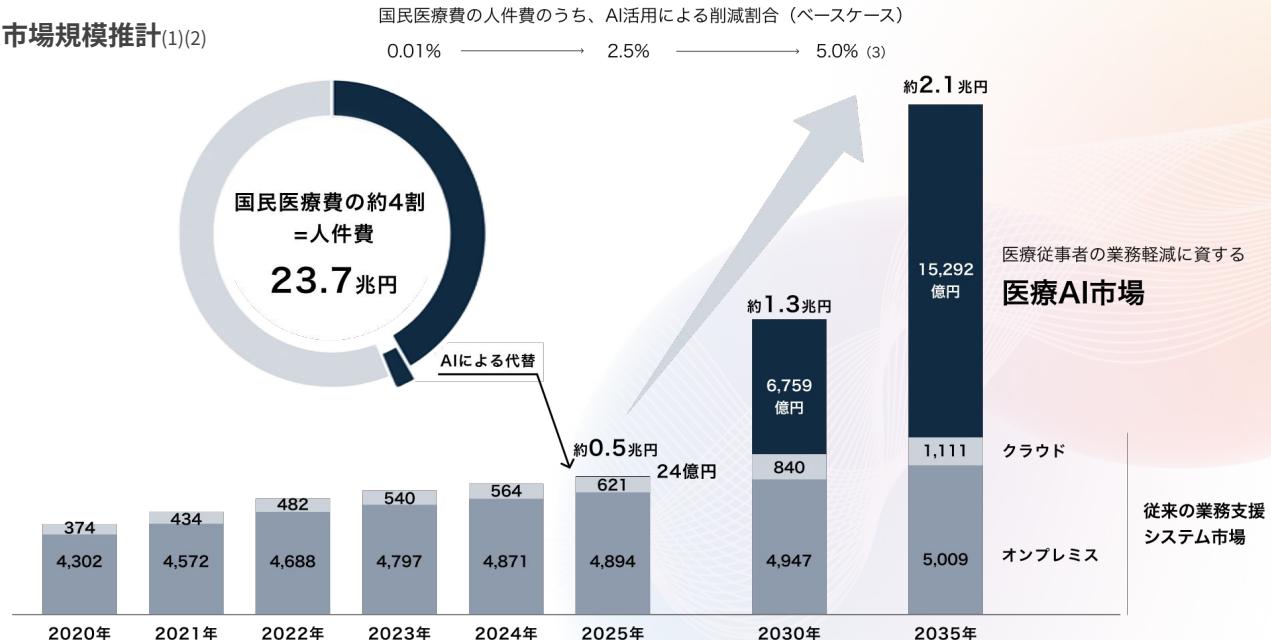
01. 医療AI市場の成長仮説と、独立型AIソリューションが抱える課題
02. 電子カルテ統合型AIソリューションの構造的利点
03. AIを活用した要約アシスト機能の概要・実績
04. 統合型AIによる医療プロセス変革ビジョン

アジェンダ

- 01. 医療AI市場の成長仮説と、独立型AIソリューションが抱える課題
- 02. 電子カルテ統合型AIソリューションの構造的利点
- 03. AIを活用した要約アシスト機能の概要・実績
- 04. 統合型AIによる医療プロセス変革ビジョン

生成AI関連技術の革新により、医療従事者の業務軽減に資する医療AI市場が急拡大することが予想されます。
現時点での精度の高い予測は困難なため、人件費のAI置換率を5年で2.5%、10年で5%をベースケースとして仮定しています。
上記シナリオに沿って伸長した場合、医療AI市場は2035年には約1.5兆円規模に達すると予測されます。

医療業務支援システム市場規模推計⁽¹⁾⁽²⁾
(億円)



(1) 医療AI市場は、厚生労働省「医療費の将来見通し」「令和4(2022)年度国民医療費の概況」「第24回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告」より
弊社にて人件費規模を推計のうえ、仮に0.01%、2.5%、5%の生産性向上支援が可能と仮定して算出

(2) 従来の業務支援システム市場は富士経済「2022年 医療連携・医療プラットフォーム関連市場の現状と将来展望」を参照

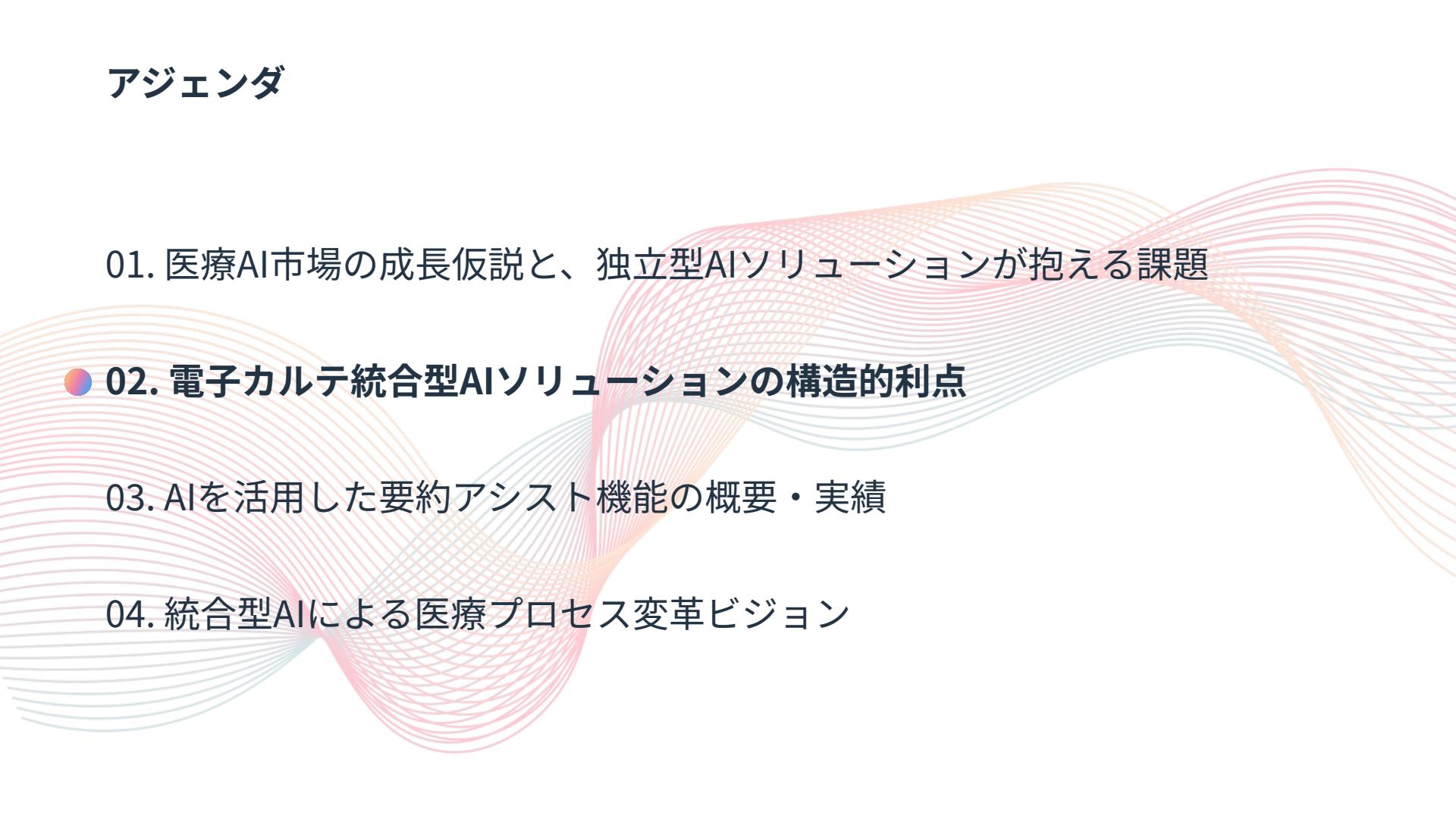
(3) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」において、医療福祉の一般労働者の現金給与総額のうち、所定外給与の割合は5%であること、また同省「医療・福祉サービス改革プラン」にて
医療福祉分野のサービス提供量について2040年に5% (医師については7%) 以上の改善を目指していることを踏まえ、AI活用による削減割合を5%に設定

独立型AI

電子カルテ等の基幹システムと分離した、別のアプリケーションとして提供されているAI製品
主に特定の入力（画像、音声、テキスト）を処理し、専門的なアウトプットを生成することに特化

カテゴリー	概要	電子カルテとの関連性
画像診断・解析	MRI、CT、レントゲンなどの医用画像を解析し、異常部位の検出や計測を行う	画像データそのものが主要なインプットであり、電子カルテ内の個別の患者データは必須ではない
論文・ガイドライン検索	過去の論文、治験データ、最新の診療ガイドラインなどを検索し、鑑別診断や治療方針の決定を支援する	外部データベースを参照するため、電子カルテ内の個別の患者データは直接使用しない
音声認識・要約	診察室の会話をリアルタイムで文字起こしし、議事録や要約を生成する	音声データをテキスト化することが主目的であり、電子カルテ連携は付加価値に留まる
問診・トリアージ	患者が自宅や待合室で症状を入力し、AIが緊急度や受診の適切性を判定する	判定はカルテ外入力された主訴に依存するためカルテ連携なしでも一定機能する

アジェンダ

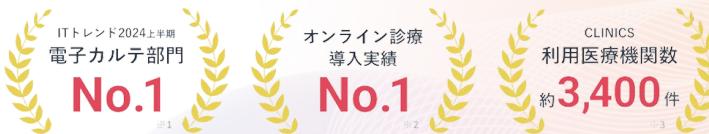


01. 医療AI市場の成長仮説と、独立型AIソリューションが抱える課題
02. 電子カルテ統合型AIソリューションの構造的利点
03. AIを活用した要約アシスト機能の概要・実績
04. 統合型AIによる医療プロセス変革ビジョン

電子カルテ機能を中心に、予約・受付・診察・会計・請求・医療DX・経営分析など
各種機能を一体化したAll-in-oneクラウド診療支援システムです。



主な実績



※1出典元：ITトレンド上半期ランキング2024（株式会社innovation & Co.、2024年6月）

※2出典元：富士キメラ総研「ウェアラブル／ヘルスケアビジネス総調査2024」（2023年実績）

※3 2025年6月時点。オンライン診療と電子カルテの合計数

最新UPDATE



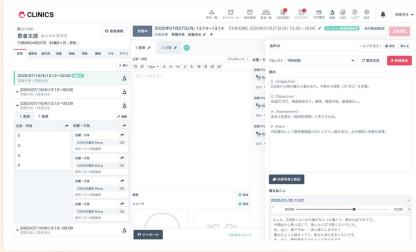
AI要約アシスト

2025年冬季リリース予定

AI文書アシスト

2026年リリース予定(開発中)

カルテ・レセコン



- ✓ クラウド型電子カルテ（レセコン一体型）
- ✓ レセプトチェック
- ✓ 経営分析ダッシュボード
- ✓ 法人管理機能
- ✓ 他社システム連携機能

かかりつけ支援機能



- ✓ WEB予約（時間帯・順番^{*2}）
- ✓ WEB問診
- ✓ オンライン診療
- ✓ チェックイン機能（マイナ保険証・アプリ^{*1}）
- ✓ スマート会計^{*1}
- ✓ Reserve with Google連携^{*1}
(マップからCLINICS予約に遷移)

医療DX機能



- ✓ オンライン資格確認（外来診療）
- ✓ 居宅同意型オンライン資格確認
(訪問診療・オンライン診療)

- ✓ 電子処方箋

AIアシスト



- ✓ AI要約アシスト^{*1}
- ✓ AI文書アシスト^{*2}

*1：2025年冬季～順次リリース予定
*2：2026年リリース予定(開発中)

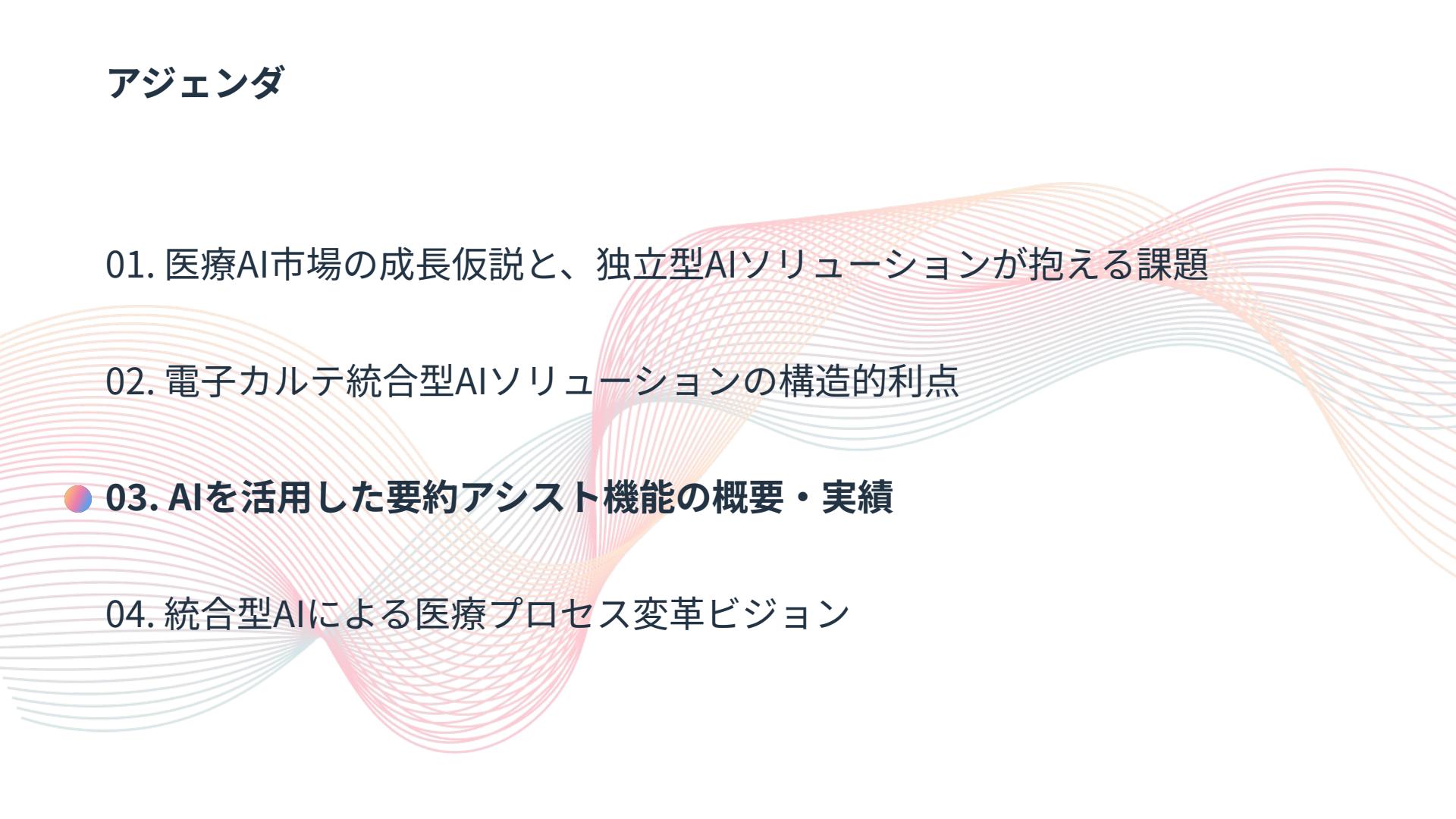
1. Contextual AI（文脈理解型AI）の実現

- 患者の基本情報、検査結果、処方歴などカルテ/レセコン内の過去～現在のデータを網羅的に理解し、自院の診療特性を踏まえたうえで、該当患者の文脈に基づいた最適なアウトプットを生成可能

2. Safety-Driven AI（安心・安全なAI）の搭載

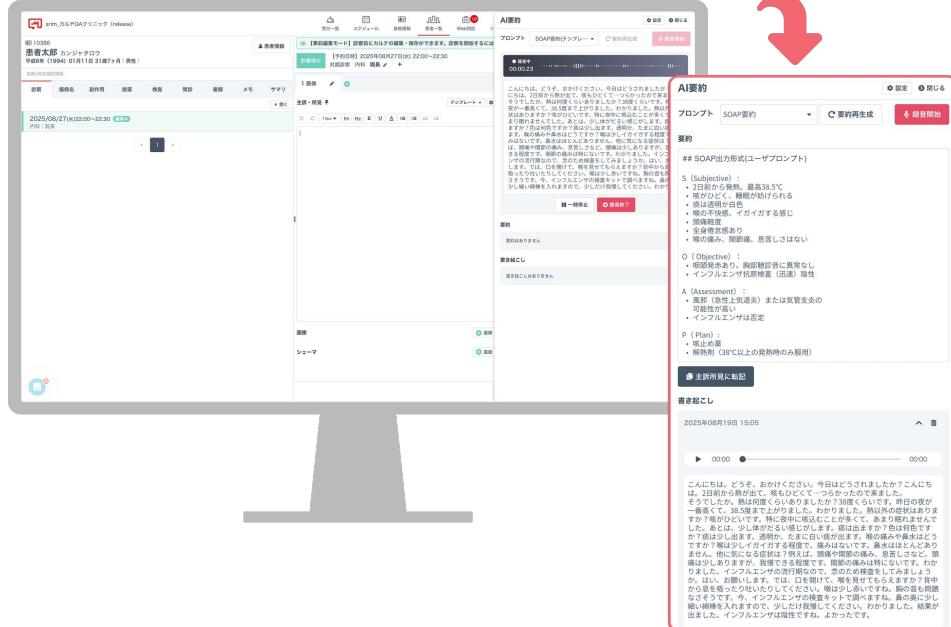
- 文章要約などの単体のタスクであっても、リスク可能性をリアルタイムにカルテ上に提示し、該当診療の安全性担保に貢献する機能を搭載することが可能
 - e.g. 診察音声から薬剤名を特定した際、文字起こしと並行して該当患者のアレルギー情報を参照
禁忌薬に該当する可能性がある場合、要約テキスト上にアラートとしてリスクを表示する

アジェンダ



01. 医療AI市場の成長仮説と、独立型AIソリューションが抱える課題
02. 電子カルテ統合型AIソリューションの構造的利点
03. AIを活用した要約アシスト機能の概要・実績
04. 統合型AIによる医療プロセス変革ビジョン

診察中の患者と医師の会話を録音、AIが自動要約することでカルテ入力の負担を大幅に軽減。
先生方が患者さまの診察に専念できる環境を構築します。



機能1

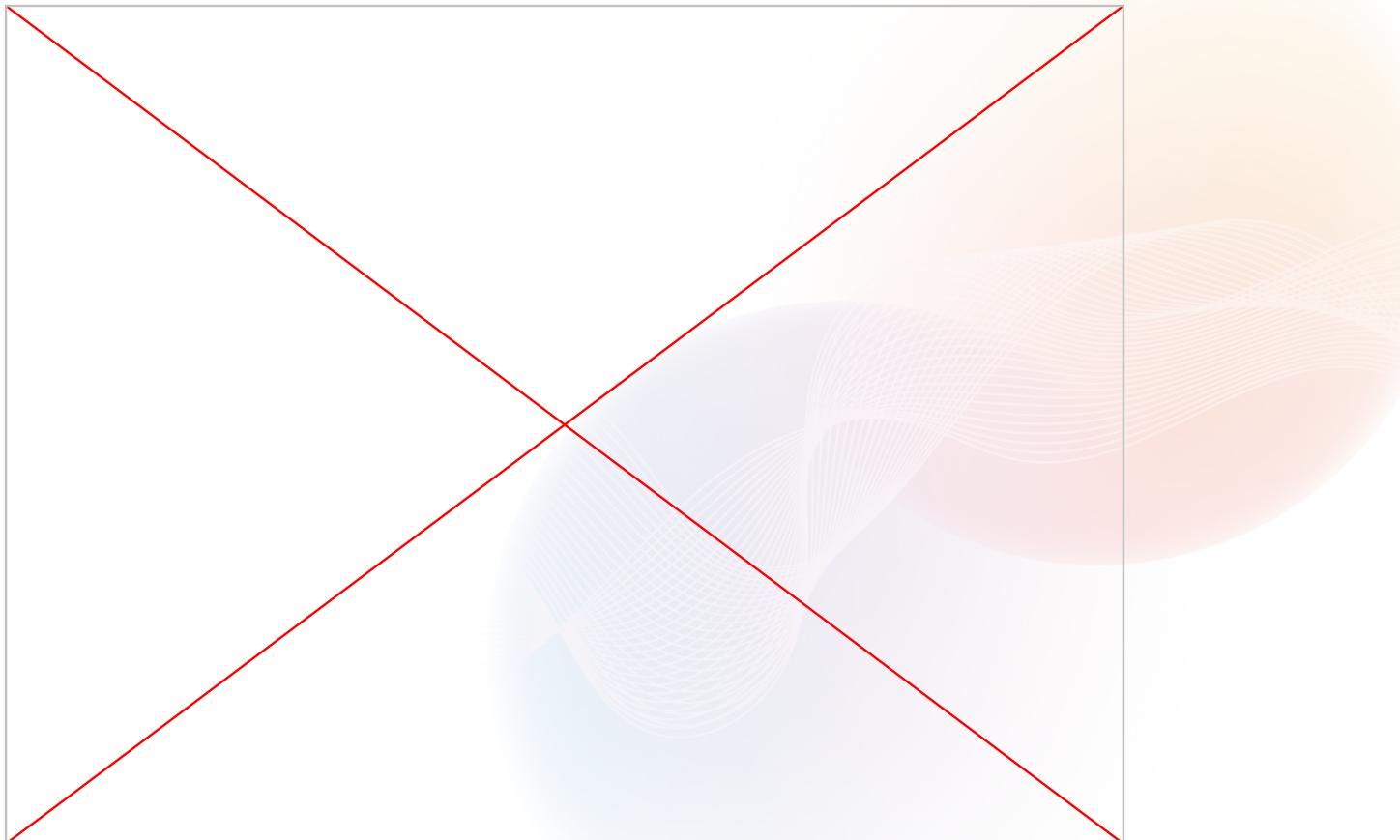
診察室内の会話をカルテ上で録音し、
リアルタイムに自動文字起こし

機能2

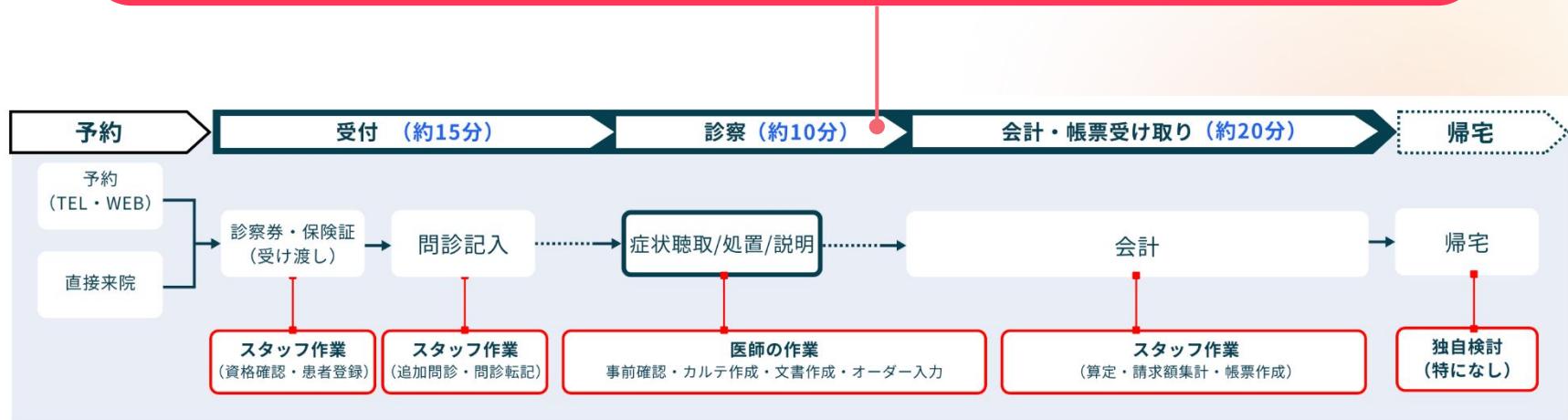
書き起こし全文を自動要約し、
1クリックでカルテに転記

機能3

複数の要約テンプレートを提供、
SOAPに限らず自由な要約指示が可能



診察開始からカルテ作成完了に至るまでの時間を約11.3%削減 ※1



※1 AI要約アシスト機能をβ検証中の医療機関から抽出した診察サンプルを対象に、類似した診察内容においてカルテ作成にかかった時間を平均値にて算出

“要約機能が素晴らしい。カルテ入力工数が1/3～1/4になった”

“聞き間違えは想定より少なく、8～9割は会話内容を正確に要約している”

“初診や面談、検査結果説明など、時間のかかる診察の記録に関して
「逐次メモを取らなくて良い」という安心感が大きい”

“再診等の短い診察を多数繰り返す時間帯でも、カルテに残せる情報量が増えた”

“録音・要約サービスを利用している旨通知しているが反発はなく、
むしろ「最新の技術を利用している」 「話したことをきちんと記録してもらえる」
など好意的に捉える患者さんが多い”

AI要約アシスト機能の"統合型AI"への進化



The screenshot shows a clinical software interface with the following elements:

- Header:** MEDLEY AI CLOUD
- Top Navigation:** 受付一覧, スケジュール, 資格情報, 患者一覧, Web問診, リクエスト (with 10 notifications).
- Left Sidebar:** 検査結果あり (2025/02/13), 患者情報 (09203, 青井トリ アオイトリ, 平成12年 (2000) 03月28日 25歳4ヶ月 | 女性 | 協会 / 公費有り), CLINICS会員 (オフライン), 薬剤/特定健診情報, 診察 (傷病名, 副作用, 投薬, 検査, 問診, 書類, メモ, サマリ), 院内共有, 患者共有, 文書作成, 文書縦形, 院内にのみ共有されます (※患者には共有されません), フォルダ管理, アップロード, 添付ファイル (1ファイル), 勤務登録者, 労災証明書類 (1ファイル), 2025年02月13日 clinics_rgb.
- Main Content:** 2025年08月06日(水) 17:28～ [予約日時] 2025年08月06日(水) 17:28～, 対面診察 | 内科 | 院長, 診察中.
- AI Summary Assist:** AI要約 (プロンプト, 内科初診, コンテキスト選択, 要約生成, 新規録音), 要約 (要約はありません), 書き起こし (書き起こしはありません).
- Bottom:** 患者へメッセージ.

AI要約アシスト機能の"統合型AI"への進化



AI要約

戻る コンテキスト選択

要約生成にあたり、参照したい患者情報を選択してください。

患者情報 すべて選択

患者情報

主訴所見（直近3回）

処置・行為（直近3回）

傷病名

既往歴

アレルギー

禁忌薬、副作用歴

常用薬（現在服用しているもの）

検査結果（直近1年）

問診（直近3回）

患者メモ

サマリ（最新3件）

辞書 任意

辞書を選択してください

検査辞書

傷病名辞書

補足プロンプト 任意

文書に含めたい捕捉情報がある場合は入力してください。

「糖尿病の定期受診（HbA1cの確認）。患者が不眠を訴えていたが、血糖コントロールや治療方針に影響するほどの不眠症とは判断せず。要約は血糖値、食事・運動療法の実行状況、合併症の確認にフォーカスし、不眠に関する記載は不要。」

保存して録音を開始

受付一覧 スケジュール 資格情報 患者一覧 Web問診 リクエスト

09203 検査結果あり (2025/02/13) 患者情報

青井トリ アオイトリ 2025年08月06日(水) 17:28~ 予約日時 2025年08月06日(水) 17:28~

平成12年 (2000) 03月28日 25 歳4ヶ月 | 女性 | 協会 / 公費有り

CLINICS会員 オフライン

薬剤/特定健診情報

診察 傷病名 ▲副作用 投薬 検査 問診 書類 メモ サマリ

院内共有 患者共有 文書作成 文書縦形

院内にのみ共有されます

※患者には共有されません

フォルダ管理 アップロード

添付ファイル 登録者

労災証明書類 1ファイル

2025年02月13日 clinics_rgb 院長

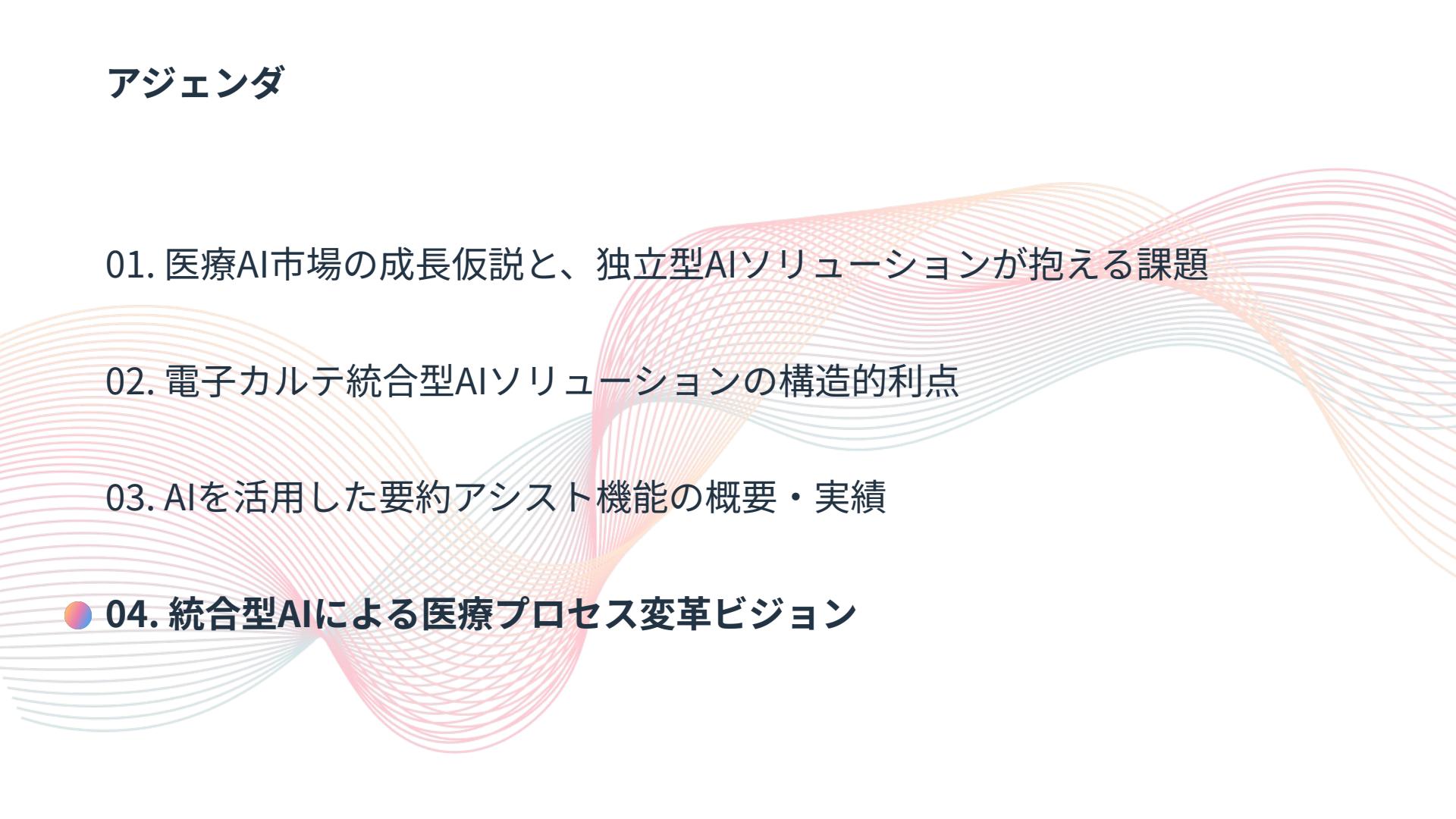
1

画像

シェーマ

患者へメッセージ

アジェンダ



01. 医療AI市場の成長仮説と、独立型AIソリューションが抱える課題
02. 電子カルテ統合型AIソリューションの構造的利点
03. AIを活用した要約アシスト機能の概要・実績
04. 統合型AIによる医療プロセス変革ビジョン

未来の展望 1：業務単位でのアシスト機能拡張



09203 青井トリー アオイトリ 平成12年（2000）03月28日 25歳4ヶ月 | 女性 | 協会 / 公費有り CLINICS会員 オフライン

検査結果あり (2025/02/13) 患者情報

薬剤/特定健診情報

診察 傷病名 ▲副作用 投薬 検査 問診 書類 メモ サマリ

院内共有 患者共有 文書作成 文書離形

院内にのみ共有されま ① 療養計画書 (1) 主治医意見書 (3) 新規作成

添付ファイル 訪問看護指示書 作成日: 2025/08/06 下書き

2025年02月13日 clinics_rgb 院長 1

文書に 文書に 文書に

作成日: 2025/08/06 作成日: 2025/08/06 作成日: 2025/08/06 配布済

画像 シェーマ

患者へメッセージ

2025年08月06日(水) 17:28:~ 【予約日時】 2025年08月06日(水) 17:00~17:30

対面診察 | 内科 | 院長 | +

平成 30 年 7 月 6 日
第 2 回要介護認定情報・介護サービス等情報の
提供に関する有識者会議 参考資料 7

主治医意見書 記入日 平成 年 月 日

申請者 (ふりがな) 男 - 女

明・大・昭 年 月 日生()歳 運送先()

上記の申請者に関する意見は以下の通りです。
主治医として、本意見書が介護サービス計画作成等に利用されることに 同意する。 同意しない。
医療機関名 電話 ()
医療機関所在地 FAX ()

(1) 最終診察日 平成 年 月 日

(2) 症状書作成回数 初回 2 回以上

(3) 他料受診の有無 (各の場合は) 内科 精神科 外科 整形外科 脳神経外科 口腔歯科 泌尿器科 産科 其の他 ()

1. 症状に関する意見

(1) 診断名 (特定疾患または生活機能低下の直接の原因となっている疾患名については 1. に記入) 及び発症年月日
1. 発症年月日 (昭和-平成 年 月 日)
2. 発症年月日 (昭和-平成 年 月 日)
3. 発症年月日 (昭和-平成 年 月 日)

(2) 症状としての安定性 安定 不安定 不明
(「不安定」とした場合は、具体的な状況を記入)

(3) 生活機能低下の原因となっている疾患または特定疾患の経過及び役割内容を含む治療内容
(最近の 3か月以内に、全般に影響があったもの および 特定疾患についてはその経過や治療内容について記入)

2. 特別な医療 (過去 14 日間以内に受けた医療のすべてにチェック)

施設内医 介護の管理 中心静脈栄養 頸筋 ストーマの処置 酸素療法
 レシピート 気管切開の処置 休業の看護 経管栄養
特別な対応 モニターリング (血圧、心拍、酸素飽和度等) 治療の処置
 データーモール (コンドームカテーテル、留置カテーテル等)

3. 心身の状態に関する意見

(1) 日常生活の自立度等について
- 疾患高齢者の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2
- 疾患の自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M
- 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M

(2) 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M
- 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M
- 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M

(3) 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M
- 疾患の日常生活自立度 (没たきり度) 自立 1 IIa IIb IIIa IIIb IV M

主治医意見書 下書き

記入日 あり 年/月/日

申請者情報

申請者氏名 (ふりがな) 必須
例: 患者太郎

申請者氏名 (ふりがな) 必須
例: カンジャタロウ

性別 男 性別 必須
例: 男

住所 東京都 住所検索

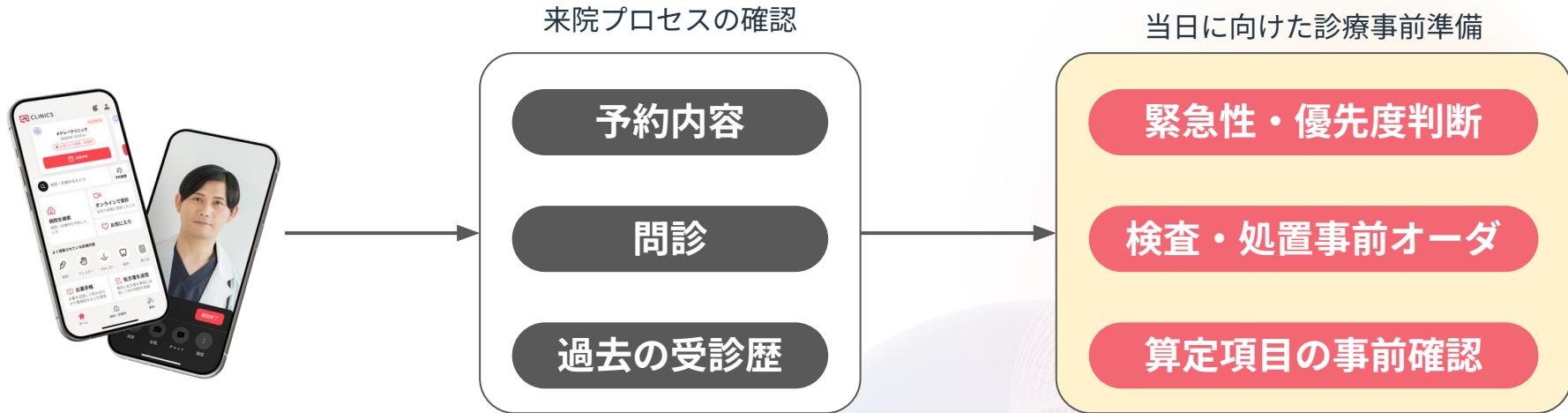
例: 東京都

例: 港区

例: マンション名

電話番号 必須
例: 0312345678

下書き保存 登録 印刷プレビュー



早期リスク検出

- 問診で一定レベル以上のリスクが検出された場合、AIが予約日を待たずに該当患者とコミュニケーションを開始
- 当日の検査・診断によって大規模病院への紹介が考えうる場合、事前に紹介状の下書きを作成
 - 診断が確定した時点で地域連携室等への電話連絡/FAX送信までサポート

医療の質の担保

- 問診回答が事前になされた場合、考えうる傷病リスクに応じて、患者アプリ上で追加問診を自動送信



MEDLEY AI CLOUD

業務効率化と、より良い患者体験を支援する